

平成30年

第1回仙北市議会定例会

市 政 報 告

仙 北 市

平成30年第1回仙北市議会定例会 市政報告

平成30年第1回仙北市議会定例会の開会にあたり、主要事項についてご報告します。

はじめに、一般会計補正予算についてです。

第7号の補正額は941万1千円です。追加事業は、墓地公園管理運営費、鎌足活性化施設整備事業費、一般観光総務費、伝承館管理運営費、観光情報センター管理運営費で、取り急ぎ対応が必要な事業等について、本日の議決をお願いするものです。

第8号の補正額は664万円の追加で、補正後の額は198億8,657万4千円となります。主な追加事業は、宝仙湖環境整備基金積立金、障害者自立支援給付費、介護保険特別会計繰出金、生活保護事務費、水道事業会計補助金、病院事業会計補助金、担い手確保・経営強化支援事業費補助金、農地集積加速化基盤整備事業費、ため池等整備事業費負担金、大曲仙北広域市町村圏組合消防費負担金、消防施設整備事業費などです。

次に、各部局等の主要事項並びに諸般の状況をご報告します。

【総務部】

◇和解金請求訴訟の経過について

株式会社渡辺佐文建築設計事務所との和解金訴訟の経過についてです。1回目の口頭弁論は、昨年11月16日の午後1時30分から秋田地方裁判所大曲支部で開かれました。相手方代理人が欠席のため、次回の日程を確認して終了しています。2回目からは弁論準備手続きに入り、同じく昨年の12月22日に行われ、相手方代理人は電話で参加しています。内容は争点の確認と被告側の反論書の提出期限を定め、次回

の日程を確認して終了しています。3回目は2月6日に行われ、2回目と同様に相手方代理人は電話で参加し、被告側の反論書の争点の確認と原告側の反論書の提出期限、次回の日程を確認して終了しています。

◇総合教育会議について

2月15日、今年度3回目の総合教育会議を開催し、仙北市学校適正配置推進計画(案)について協議しました。同計画の基本方針に基づく適正配置の検討対象となる学校は、中川小学校と桜木内中学校の2校です。地域との意見交換会など、今後の大まかな日程等についても検討を行いました。

◇平成30年全国広報コンクールへの推薦決定について

広報せんぼく12月16日号が、昨年の「写真の部」に続き、「広報紙の部」で平成30年全国広報コンクールへの推薦が決定しました。同コンクールは公益社団法人日本広報協会が毎年開催しています。仙北市が応募した広報紙は、「田沢湖」と「クニマス」に焦点をあてた特集号で、読み応えがあり特集の意図がうまく伝わっていると、審査員から高い評価があったと伺っています。全国コンクールの結果も期待しています。

◇仙北市総合戦略～自らのまちを自らが拓く！～について

平成28年1月に策定された「仙北市総合戦略」の57事業について、今年度2回にわたり仙北市総合政策審議会で施策の効果等を検証・評価をいただきました。1月には総合戦略アドバイザーの方々からも意見をいただき、とりまとめた概要版や評価を市のホームページに公表しています。今後も各種施策でアドバイスをいただき、これを活かしながら計画の推進に努めます。

◇地方創生推進交付金事業について

2月17日に開催の「ドローンによる空撮映像コンテスト」は、海外から12作品、市内から5作品を含む99件の応募があり、あきた芸術村で表彰

式を行いました。ドローンの可能性と仙北市の魅力を広く発信できたと思います。今後は民間主体で事業継続を検討します。

起業と事業拡大を支援する「事業創造研修会」は、昨年12月に「近未来技術の活用によるビジネス創出」と「地域資源の活用によるツーリズム等の開発」をテーマに開催し、4日間で延べ39人の皆さまに参加をいただきました。1月には個別の相談会を3回実施し、事業化に向けた取り組みを支援しています。

「温泉×健康によるヘルスケア推進事業」は、2月7日に2回目の次世代ヘルスケア産業推進協議会を開催し、取り組み方針の協議や温泉入浴動画の試写、玉川温泉岩盤浴地安全対策調査の概要、健康増進プログラムの掘り起こしなど、それぞれ中間報告を行いました。当日は市が導入したストレス測定器も披露し、今後は、広く市民に活用いただき温泉の効果を実感いただきたいと思います。3月中旬にスタートする「ヘルスツーリズム認証制度」では、プログラム認証にあたり実施企業の支援をしていきます。

なお、これらの取り組みが経済産業省の地域版次世代ヘルスケア産業協議会に位置付けられたことから、2月7日には東北経済産業局と市の共催で「ヘルスケア産業創出セミナーin仙北市」を開催しました。

◇東北大学大学院との連携事業について

昨年8月、連携協定を締結した東北大学大学院の研究グループが、強酸性の天然温泉(玉川温泉水)から水素燃料を取り出す実験に成功しました。二酸化炭素を出さずに水素を生成する効率的な手法です。同グループは、平成30年度にも電力供給や水素自動車など、実用化に向けた取り組みを始めたいとしています。市は今後も支援を続け、子ども達との勉強会や市民の皆さま・関係企業への情報提供を行います。

◇出会い・結婚支援事業について

1月19日、独身男性を対象とした「コミュニケーション講座」を開催しました。講師は全国各地の企業などで活躍している中安留美(なかやする

み)さんです。あいさつの仕方から話題の作り方、相手にあわせた話のキャッチボールなどをポイントに親しみのある講習会で、参加者からはスキルアップの機会を増やして欲しいなどの要望をいただきました。今後も独身男女の出会いの場づくり、情報提供などを継続します。

◇消防出初式について

1月6日、仙北市民会館を会場に仙北市消防出初式を開催しました。消防団員360人に参加をいただき、市民会館横の旧秋木工場跡地から分列行進を行い、その後挙行した式典では、これまで長年にわたり消防活動に功績のあった皆さまの表彰、また、消防団幹部として退職された方々への感謝状贈呈などを行いました。

◇雪下ろし事故について

昨年1月末の事故件数は3件でしたが、今年は年末から現在まで既に10件の雪下ろし作業事故等が発生しています。その中で、屋根からの落雪により2人の方が亡くなっています。心からご冥福をお祈りします。市では安全安心メールや広報車による注意喚起、新聞折込みチラシなどで注意喚起を行っています。また、1月15日には雪下ろし講習会を開催し、安全対策や作業手順を確認する座学と実技講習を行いました。

◇雪害の警戒について

1月24日、仙北市に大雪警報が発令されました。これを受け大雪による雪害警戒と災害情報の収集等のため、同日午前10時に災害連絡室を設置しました。1月26日午後4時にいったん解除しましたが、同月28日に死亡事故が発生し、再度29日に災害連絡室を設置しました。その最中の30日にも同様の死亡事故が発生しています。2月6日には積雪量の増加が予想されたことから雪害警戒部に移行しましたが、さらに2月14日、国道46号仙岩トンネル付近で雪崩が発生し通行止めとなったこと、また、市内各地でも雪崩事案の情報があったことを受け、15日の午前9時に警戒部を対策部に改め対応を強化しています。

◇仙北市コンビニAEDステーションに関する協定締結式について

1月16日、田沢湖庁舎を会場に仙北市コンビニAEDステーション設置に関する協定締結式を行いました。コンビニAEDステーションは、市が購入したAEDを市内13店舗のコンビニエンスストアに設置いただき、休日や深夜などでも救命措置ができる範囲や時間を拡大するものです。AEDは順次運用が始まっています。

◇公共施設等総合管理計画第1期個別施設計画及び第2次観光振興計画について

公共施設等総合管理計画に基づき、最初の10年を計画期間とする第1期個別施設計画(案)、また、平成30年度を計画初年度とする第2次観光振興計画(案)を作成しました。両計画(案)を議員の皆様へお配りしていますが、本定例会中に内容説明を行う予定です。

◇障害者福祉施設について

2月11日、ホテル・グリーンヒルズ田沢湖(現在休業中)を障害者福祉施設に転用する計画の運営主体法人が、地域説明会を開催しました。説明会には田沢湖畔の事業者、住民等関係者14人が出席し、説明の後に質疑応答が行われました。出席者からは特に開設への異論がなかったようです。法人は今後、関係機関と協議のうえ平成30年度中の開設に向け準備を進めたいとしています。

【市民福祉部】

◇けんこう企業の紹介について

働き盛りの45歳を境に、がん・心疾患・脳血管疾患で亡くなる方が増えています。この要因の多くは糖尿病や高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病ですが、若い世代の健康づくりはその後の人生に大きく影響するため、市広報をはじめ各種ツールを活用し、けんこう企業を紹介しています。健康意識の高揚を啓発することで健診率の向上を目指し、

それが将来的には医療費の適正化に繋がるものと考えています。

◇仙北市湯ったり生き生き温泉入浴事業について

温泉を活用した健康増進事業の1つとして、1月4日から温泉入浴券の申請受け付けを開始し、1月31日現在で1,340人に入浴券を交付しています。申請受付期間は3月30日までで、2月1日から3月31日まで入浴券での入浴が可能です。皆さまのご利用をお待ちしています。

◇仙北市高齢者世帯等除雪支援事業について

雪による痛ましい事故が続発していることから、除雪が困難な高齢者世帯等231世帯に対し、屋根の雪下ろし利用券の交付を行っています。引き続き各方面と連携して事故防止対策に努力します。

◇高齢者介護予防推進事業について

65歳以上の市民の健康増進・介護予防を推進するため、クリオン温泉プールを活用し「わくわく教室」・「浮き浮き教室」を実施しました。「わくわく教室」には延べ425人、「浮き浮き教室」には延べ501人の参加をいただきました。今後も温泉プール活用による健康増進活動を展開します。

【観光商工部】

◇仙北市花紀行ポスター展の開催について

1月16日から21日までの6日間、東北電力グリーンプラザギャラリー(仙台市)をお借りし、仙北市花紀行(シダレザクラ・カタクリ・ミズバショウ)ポスター展を開催しました。期間中1,102人の方々にご来場いただきました。ご来場いただいた皆さまにお伺いしたところ、多くが角館の武家屋敷や桜を知っている一方、カタクリやミズバショウはまだまだ認知度が低いことを感じました。交流人口の拡大には仙台圏も重要なエリアです。有効な対策を講じたいと思います。

◇みちのく三大桜名所プロモーション強化事業について

2月9日から13日まで、欧米のマスコミ関係者10人によるファミツアーを実施し、仙北市をはじめ弘前市や北上市の観光地や小正月行事をご覧いただきました。本市では紙風船上げや田沢湖、角館武家屋敷、樺細工伝承館などを回り、多彩な観光資源のPRを約束いただきました。

◇それぞれの冬祭りの開催状況について

2月10日は「上桧木内の紙風船上げ」でした。当日は荒天で保存会等が協議を行い、午後7時以降の打ち上げを中止、膨らませた風船をご覧いただき回収しました。来場者は8千人程度と推測しています。今回は天候に恵まれなかったこともありますが、駐車場の整備手法や国道105号の渋滞緩和対策を痛感しました。改善策を検討します。

2月13日・14日は角館町の小正月行事「火振りかまくら」でした。約5千人の皆さまに来場をいただきました。市民や観光客の皆さまが、五穀豊穡や一年の無事を願うことができました。2月17日と18日は、第47回田沢湖高原雪まつりでした。好評の雪中宝さがし大会やステージパフォーマンスショーを行い、また、初めてお祭り屋台で「汁・椀グランプリ」を開催し人気を集めました。この他にも市内には多数の小正月行事があります。それぞれの行事が関係者各位のご努力で運営されていることに、改めて感謝を申し上げます。

◇田沢湖・澄清湖姉妹湖締結30周年記念事業について

1月17日から21日の5日間、仙北市国際交流協会の吉田裕幸(よしだひろゆき)会長を団長に、姉妹湖締結30周年を記念して総勢96人が訪台しました。18日には澄清湖を管理する自来水公司から郭(かく)董事長はじめ関係者50人、日本側からは仙北市国際交流協会会員や青柳議長、市議会の皆さま、市民の皆さま、市内観光関係者、また、大仙市長・議長、美郷町長・議長などにも参加をいただき、総勢170人で盛大に記念式典と交流会が行われました。19日以降も秋田フェアへの出席、各地市政府や関係機関の表敬・懇談など、多忙な日程の中にあっ

でも日台友好、広域連携の誘客や相互交流の重要性を確認できました。玉川温泉と姉妹温泉の北投温泉でも熱烈な歓迎をいただきました。

仙北市が展開する台湾との交流は、国内で草分け的な取り組みとの評価が高く、教育や産業分野にも広がりを見せています。30年前、その一歩を踏み出した先達の皆さま、今回ご参加いただいた皆さま、多くの関係の皆さまに心から御礼を申し上げます。

◇JENESYS 2017 事業韓国青年訪問団

1月19日から23日までの5日間、外務省が行うJENESYS2017事業韓国青年訪問団で、韓国国内から選抜の大学生34人、済州島(ちえじゅとう)や釜山(ぷさん)から選抜の高校生34人が、農山村体験や市民交流を目的に、市内17軒の農家民宿にホームステイをしました。また、期間中は本市と連携協定を結ぶ大曲農業高等学校で、農産物生産や加工、日本文化といった地元高校生との国際交流も実施できました。

今回の訪問団受け入れは、仙北市角館町出身の釜山日本国総領事館の古村哲夫(こむらてつお)領事が橋渡しをしてくださいました。枝垂れ桜が咲く釜山は秋田とご縁も深く、今後も多くの方々の訪問を期待します。

◇雇用状況について

昨年12月のハローワーク角館管内有効求人倍率は1.66倍で、県平均の1.43倍を上回っています。平成30年3月卒業予定の高校生に対するハローワーク大曲(ハローワーク角館含む)求人受理状況は、昨年12月末現在で198事業所543人です。こちらも前年同期を上回る状況で推移しています。なお、大曲仙北地域の高校生の昨年12月末の県内就職内定状況は、就職希望者が260人に対し246人で内定率94.6パーセント、前年同期比で就職希望者が25人、就職内定者が35人の増加をしています。一人でも多くの地元就職が叶うことを願っています。

【農林部】

◇米政策の見直しによる農業関係制度説明会の開催について

平成30年産から行政の生産数量目標配分が廃止となり、米に関連する農業政策は大きな転換期を迎えました。生産者の中には生産調整(減反)に係る国からの交付金が、全て廃止となるような捉え方をしている方も少なくないようです。そこで、2月19日から2月27日まで市内4会場で制度の説明会を開催することにしました。生産調整の取り組みを理解いただき、新制度の交付金申請に漏れなどないよう啓発活動に努めます。

◇堆肥処理施設の試験運転について

西木町高野地区で整備を進めてきた堆肥処理施設整備は、昨年12月末に施設整備工事が完成しました。4月からの本格稼働に向け、廃棄物処理を所管する大仙保健所と事業主体の秋田県農業公社で協議を行い、2月1日から試験運転を行っています。畜ふん等約40tを試験材に1次発酵・2次発酵を終え、現在は完熟化を進めています。脱臭装置の効果は大きく施設外での臭気はほぼ皆無です。3月まで試験を繰り返し本格稼働に向かいます。

【建設部】

◇市道除雪の状況について

今期は11月中旬からの早い降雪となりました。さらに、12月から2月まで断続的ながら集中降雪があり、累計降雪量は昨年の1.5倍となっています。除雪車の出動回数も多く、2月14日現在の平均出動日数は32日で昨年の1.5倍です。今後も降雪・積雪状況を注視し、市民生活の利便性を損なわないよう取り組みます。なお、関係の予算不足が見込まれます。精査のうえ、議会最終日に補正予算をお願いしたいと考えています。ご理解をよろしくお願いします。

【医療局】

◇第46回医療功労賞受賞について

1月26日、秋田キャッスルホテルを会場に、第46回医療功労賞の都道府県表彰が行われ、市立田沢湖病院の佐々木英人院長が栄えある受賞に輝きました。佐々木院長の地域医療に対するご尽力に、改めて深く感謝を申し上げます。